

学研 ひと様

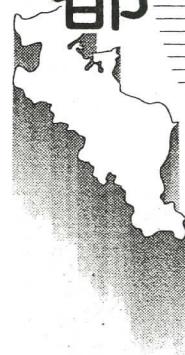
「ロミオを演じませんか」。ロミオ? シェークスピアの? はあ...。それらしい衣装を着け帽子をかぶる。ATR知能映像研究所(京都府相楽郡精華町)の土佐尚子さん(35)の研究室。促されるままにマイクを握り、スク

リーンの前へ。
「痛い!」

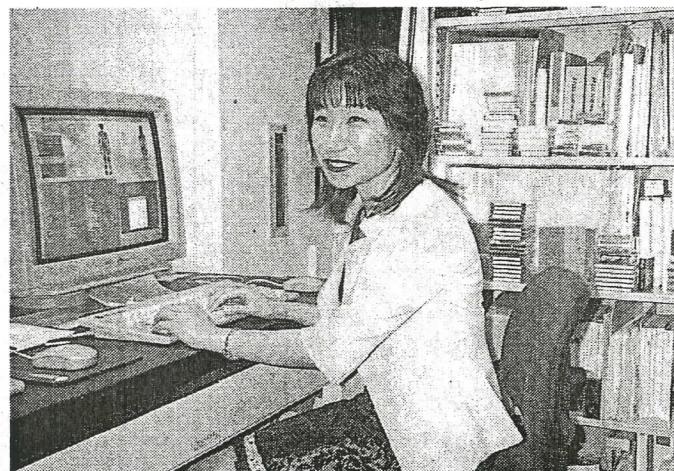
魚業者の期待をこなつて放流されるグジ

ATR知能映像通信研究所 土佐 尚子さん

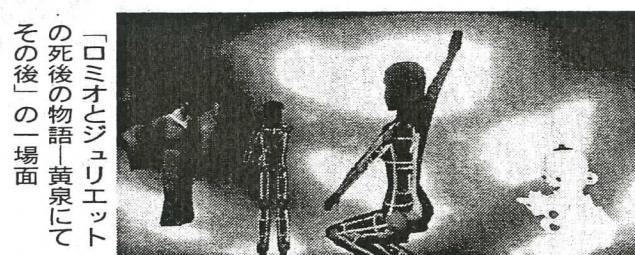
地域トイド京都



見る側の意思、映像に反映



インタラクティブ映画に取り組む土佐さん



「ロミオとジュリエットの死後の物語 黄泉にて」
その後の一場面

(毎週水曜日に掲載します)

「技術は世に出ないと意味がない」。ヒーロー、ヒロイン願望をかなえてくれるインタラクティブ映画も、成否は「人が触れて何を感じるか」。アーティストの意気が、そこにある。

滋賀県が
畔に建設、
プランを予定
県立芸術劇
「太宰記念館」
の完成式

迫力ある音響効果味わう

びわ湖
ホール

絵画 買います
お気軽に
ご相談下さい
津田画廊
(水曜定休)
京都市中京区富小路通六角下る
(075) 222-2161
(075) 241-6132

猛さんが正
みた人間の
語る。
聴講の申
究所 007
001の四
に住所、氏

見る側の意思が物語に反映する近未来のメディア・インタラクティブ映画は今、世界中で研究が進んでいる。土佐さんの手がける「ロミオとジュリエットの死後の物語」黄泉にてその

後」は四十分の物語。幻想的な背景に「わぎ役」が次々と登場する。恋敵と決闘の場面もある。「もっと臨場感を出したい」。仮想体験のなかで自然と能動的になれたら...。

「これが難しいんですね」。科学者ではなく「メディア・アーティスト」という。例えば映像で赤ちゃんを作りだす。「科学者は客観的なデータを積み重ね、限り

なく本物に近づけます。私たちもシミュレーションしますが、現実の物理的な法則に基づくのではなく、自分の価値判断、美意識に従って再構築するんです」

映画が好きだった。「でも普通の人に感じられない」。福岡で映像を学び、コンピューターグラフィックスやビデオアートから創作活動に入る。「コンピューターを使えば見る人自身が映像のなかに入つていける」。客員研究員として三年前からATRに在籍し、神戸大と武蔵野美術大で教える。

（毎週水曜日に掲載します）